

令和 5 年 12 月 1 日

**【照会先】**

政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室

統計管理官 鎌田 真隆

室長補佐 齋藤 重正（内線 7471）

計析第一係（内線 7470）

（代表電話） 03（5253）1111

（直通電話） 03（3595）2812

報道関係者 各位

## 令和 2 年(2020) 都道府県別年齢調整死亡率を公表します

厚生労働省では、このほど、令和 5 年度(2023)人口動態統計特殊報告「令和 2 年(2020) 都道府県別年齢調整死亡率—主な死因別にみた死亡の状況—」の概況を取りまとめましたので公表します。

「都道府県別年齢調整死亡率」は、死亡数は「人口動態統計」、人口は「国勢調査」をもとに昭和 35 年(1960)から 5 年（国勢調査年）ごとに算出し、今回が 13 回目となります。

年齢調整死亡率は、死亡数を人口で除した通常の死亡率（粗死亡率）と違い、年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるようにするための死亡率のことです。この死亡率は、年齢構成をそろえた場合の人口 10 万人あたりの死亡数を表しています。この死亡率を用いることによって、年齢構成の相違を気にすることなく、より正確な地域比較や年次比較をすることができます。

### 【結果のポイント】

＜全死因による都道府県別にみた令和 2 年の年齢調整死亡率＞

○男性は長野、滋賀、奈良等で低く、青森、秋田、福島等が高い。

女性は鳥取、沖縄、熊本等で低く、青森、福島、栃木等が高い。（5 頁）

＜主な死因による都道府県別にみた令和 2 年の年齢調整死亡率＞

○悪性新生物・・・男性は長野、沖縄等で低く、青森、秋田等が高い。

＜腫瘍＞ 女性は福井、大分等で低く、北海道、青森等が高い。（9 頁）

○心疾患 ... 男性は福岡、鳥取等で低く、愛媛、和歌山等が高い。

（高血圧性を除く） 女性は鳥取、沖縄等で低く、愛媛、山口等が高い。（14 頁）

○脳血管疾患・・・男性は滋賀、奈良等で低く、岩手、秋田等が高い。

女性は大阪、奈良等で低く、岩手、秋田等が高い。（16 頁）

※詳細は、別添概況をご参照ください。